

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和3年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0083

所在地 東京都千代田区麹町1丁目5番地4-712

評価機関名 株式会社 ケアシステムズ

認証評価機関番号

機構 06 - 167

電話番号 03-3511-5035

代表者氏名 和田 俊一

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	和田 俊一	経営	H0601057
	②	岡崎 圭子	福祉	H0902004
	③	石崎 玲子	福祉	H1001021
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	事業所内保育所			
評価対象事業所名称	とちよう保育園			
事業所連絡先	〒	163-8001		
	所在地	東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都議会議事堂1階南側		
	TEL	03-5990-5301		
事業所代表者氏名	理事長 山手 斉			
契約日	2021 年 5 月 26 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2021 年 10 月 1 日			
利用者調査結果報告日	2021 年 12 月 4 日			
自己評価の調査票配付日	2021 年 7 月 26 日			
自己評価結果報告日	2021 年 12 月 4 日			
訪問調査日	2021 年 12 月 7 日			
評価合議日	2021 年 12 月 7 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	第三者評価を行うにあたり、職員自己評価と保護者アンケートをはじめ、事前資料や訪問調査当日の書類確認など多面的な情報収集に努めた。また、職員からも評価項目ごとにチェックが入られる評価シートを用い、集計報告書に反映させた。訪問調査では、園内見学、保育場面の見学、経営層・専門職などからのヒヤリングを実施した。第三者性確保については、当評価機関と事業者との間には特別な関係は存在せず、中立公正な立場で調査を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 理事長 山手 斉

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 子どもを第一に、子ども一人ひとりを理解し、子どもにとって最もふさわしい生活の場で温かい保育を行う 保育理念 2) 楽しく落ち着いた環境の中、多くの愛情を注ぎ、温かい保育を実践する 3) 一人ひとりを大切に、生命の保持と情緒の安定を図っていく 4) 保護者と子どもの成長を喜び合い、信頼関係を作る 5) 地域と協働し、子どもの保育に関する相談に応じ、助言や情報提供を行っていく</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>○求めている人材像 ・保育園の社会的使命や、社会に求められているニーズを正しく認識でき、使命を理解して働くことが出来る人 ・質の高い保育(子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育)を提供するため、日々努力を惜しまず前向きに仕事に取り組むことが出来る人 ・一人ひとりの保護者の状況を把握した上で、保護者にとって必要な支援を行い、地域の資源を積極的に活用したり、地域との連携を図り、職場においては職員間の共同性を高めながら仕事に関わることの出来る人</p> <p>○役割 ・社会のニーズを把握し、働く人を支援する(保育の仕事を通じて) ・働く人を支援するための地域連携、情報収集及び発信</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>○職員に期待すること ・自己管理能力・自己研鑽能力を高め、日々の仕事に最善の状態で行き届く ・保育所職員としての専門性を高める努力を惜しまず、保育を行うための人としての倫理観、人間性を高めることができる</p> <p>○職員に持って欲しい使命感 ・保育の置かれている現状を正しく把握し、仕事に対する誇りを持ち、開拓していこうとする使命感 ・福祉が充実し、発展するための下支えをする使命</p>

調査対象

調査日現在、本園の全34世帯(利用者総数37名)を調査対象とし、29世帯より回答を得た。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱い、当園に複数名園児を預けている場合は、一番低年齢の園児に対する回答とした。

調査方法

アンケートは、QRコードを付した依頼文を配付し、評価機関に直接電送してもらう方法と、アンケート用紙を園にて配付してもらい回答は返信用封筒にて評価機関に直接送付してもらう方法の2種類で実施した。

利用者総数

37

利用者家族総数(世帯)

34

共通評価項目による調査対象者数

34

共通評価項目による調査の有効回答者数

29

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

85.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な満足度に関する調査の結果は、対象者全員が「大変満足」または「満足」と回答し、大変高い満足度が得られている。

項目別では、＜保育サービス＞に関する8設問はすべてにおいて、大変高い満足度であった。特に「子どもの発達への有用性」「園活動への子どもの関心度」「保護者との信頼関係の構築」では、全員が「はい」と回答する大変高い満足度が得られている。

＜安心・快適性＞についての4設問は3設問において、大変高い満足度であった。特に「職員の接遇や態度」「けがや体調不良時の対応」では、全員が「はい」と回答する大変高い満足度が得られている。

＜利用者個人の尊重＞についての3設問はすべてにおいて、大変高い満足度であった。特に「子どもの気持ちを尊重した対応」では、全員が「はい」と回答する大変高い満足度が得られている。

＜不満・要望への対応＞では、「不満や要望への対応」は大変高い満足度であった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	29	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「保育園でのよい刺激で、できることが増えています。子どもも毎日楽しく過ごしているようです」、「お散歩やいろいろな創作物、活動などを通じて、どんどん感性が豊かになっていると感じます」、「たくさんおしゃべりしたり、いろいろな色を覚えるようになりました」という声が聞かれた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	29	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「職員方が遊びを工夫して考えてくださって、子どももとても楽しそうです」、「子どもが帰り道や寝る前に「こんなことをしたの～」といろいろお話ししてくれます」、「雨の日の宝探しや、制作、いろいろなゲームを職員方がよく考えてくださっていると思います」という声が聞かれた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	28	1	0	0
「はい」が96.6%、「どちらともいえない」が3.4%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「毎回よく食べたメニューなどを伺い、自宅でも取り入れたりなど参考にさせていただいています」、「毎回おかわりをしているようで、美味しく、食べやすくしていただいているおかげだと思います」、「少しずつですが、野菜や果物を食べてくれるようになりました。時間のかかる料理も出してもらえて、味覚の幅が広がっていると思います」という声が聞かれた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	3	0	0
「はい」が89.7%、「どちらともいえない」が10.3%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「戸外遊びをしてもらって、落ち葉やどんぐりを拾ったり、自然に興味を持つようになりました」、「世間ではコロナで夏祭りが開催されないなか、保育園で夏祭りを企画していただき感銘いたしました」、「いろいろな世代の人と関わることができています」という声が聞かれた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	25	0	0	4
「はい」が86.2%、「無回答・非該当」が13.8%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「転職して勤務時間が変わった時も迅速に対応してくださいました」、「急に業務が増えることも多く大変助かっています」、「延長保育にしっかり対応してくれる」という声が聞かれた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	28	1	0	0
「はい」が96.6%、「どちらともいえない」が3.4%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「安全対策はきちんと取られていると思います」、「迷子になった時の対策をしていたりと、手間をかけて対策してくださっていると思います」、「細かい傷に関しても教えていただけます」という声が聞かれた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	24	5	0	0
「はい」が82.8%、「どちらともいえない」が17.2%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「面談など早めに調査をいただいています」、「保育参観もかなり早くから予定を書いてくださり、こちらも柔軟に対応できて助かっています」という声が聞かれた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	29	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「お昼寝やトイレトレーニングなどの相談にも乗ってくださり、子どもに合わせて対応していただきとても感謝しています」、「連絡ノートで園の様子を教えていただけたら、家での関わり方で疑問に思うことのアドバイスがあるなど、大変助かっています」、「どの職員も丁寧にに対応してくださって、相談しやすいです」という声が聞かれた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	28	1	0	0
「はい」が96.6%、「どちらともいえない」が3.4%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「保育園がきれい」という声が聞かれた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	29	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「職員方が非常に丁寧なので、親として安心して子どもを預けることができます」、「職員が皆、良い人ばかりで、安心して子どもを預けられます」という声が聞かれた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	29	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「いつも親以上に丁寧に対応して下さいます」、「アドバイスをいただけてありがたいです」、「小さな傷や虫刺されでも報告してくれて、冷やすなど対応してくれます」という声が聞かれた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	20	4	0	5
「はい」が69.0%、「どちらともいえない」が13.8%、「無回答・非該当」が17.2%であった。自由意見では「親はすぐ叱ってしまいがちですが、うまく声がけいただき、引き離したり優しく諭していただいたりしているようです」、「いさかやいじめにあったことがないのでわかりません」という声が聞かれた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	29	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「癪癪を起しても寄り添った問いかけをしていただき、適切に対応していただいています」、「よく個人の特徴を見てくださっていると感じます」、「子どもの様子からも職員を信頼していることがわかり、気持ちを尊重して対応してくれているなど感じます」という声が聞かれた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	26	2	0	1
「はい」が89.7%、「どちらともいえない」が6.9%、「無回答・非該当」が3.4%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「ミスがあっても迅速に再発防止など対応していただいています」という声が聞かれた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	28	1	0	0
「はい」が96.6%、「どちらともいえない」が3.4%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「子どものことをよく見てくださり、毎日連絡帳やお迎え時に園での様子をお話してくれます」、「些細なことでも報告して下さり、信頼できます」、「日誌がとても丁寧」という声が聞かれた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	25	2	0	2
「はい」が86.2%、「どちらともいえない」が6.9%、「無回答・非該当」が6.9%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「伝えれば対応してくれると思います」という声が聞かれた。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	19	6	1	3
「はい」が65.6%、「どちらともいえない」が20.7%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が10.3%であった。自由意見では「聞いたと思います」という声が聞かれた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float:right">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	設立趣旨をはじめ保育理念や保育目標などを明示し関係者への周知に努めている 園のパンフレットには設立趣旨をはじめ、保育理念や保育方針、保育目標などを明示し、関係者への周知に努めている。職員に対しては園内のグループ研修などを通じて理解を深め、自己評価表での振り返りを通じて個々の理解を定着させることに取り組んでいる。重要事項説明書に明記すると共に、入園希望者の園見学、入園説明会、保護者会、個人面談等を通じて口頭で説明したり、関連資料を配布して理解をすことに取り組んでいる。さらに、子ども一人ひとりのラーニングストーリーを作成し、それを通して保育への理解を更に深められるようにしている。	
	園長・主任は園内の各種の業務を統括し園運営をリードしている 園長は園内の統括として、保育運営をはじめ管理業務全般、関係機関との連携、苦情処理等について、主任は園長補佐のほか保育指導・実習生に関しての業務範囲が具体的に定められている。園長や主任は理念に基づいた保育方針の説明や、日常的に職員の指導・助言によって、自らの役割と責任を果たすことに取り組んでいる。職員の方向性や考え方、視点(子どもへのまなざし)などについては、ラーニングストーリー形式の園内研修によって学べるようにしている。それらの取り組みによって、保護者にも保育が伝わりやすくなったことを園では認識している。	
	重要な案件について意思決定し、その内容を関係者に周知する仕組みが整っている 重要な案件については毎週開催している定例会議等で抽出し、運営事業者(尚徳)、設置主体(事業団)、事業主体(東京都)の三者において検討や決定を行い合意形成し、各クラスや部署会議において職員に内容と決定経緯を伝える仕組みが整っている。急ぎの要件については、周知簿を用いて迅速に園全体に伝えるようにしている。また、会議に参加できなかった職員には、会議録等で周知を図っている。保護者に対しては、個人面談、保護者会、園だより、クラスだよりに加え、必要に応じて、園内掲示板や登降園時等に個別に口頭で伝えていく。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>様々な機会や取り組みによって事業環境の把握・収集に取り組んでいる</p> <p>保護者の意向や要望については、年度末に保育内容に関するアンケート調査を実施して把握に努めている。事業所運営に対する職員の意見は各種の会議をはじめ、職員自己評価をもとに前期・後期の年2回実施している職員面談で聴き取りを行い、把握や検討に取り組んでいる。地域の子育てニーズについての情報は、都や利用者の居住自治体、報道等を通じて積極的な情報収集に取り組んでいる。保育業界の動向については、業界紙、保育団体広報誌の定期購読や回覧、さらに保育協会に加盟して情報収集に努めている。</p> <p>10年間の業務委託契約のもとに毎年予算を協議して円滑な園運営に臨んでいる</p> <p>設置主体である一般財団法人東京都人材支援事業団と運営事業者の社会福祉法人尚徳福祉会は園運営に関して、10年間の業務委託契約を締結しており、毎年予算を協議して円滑な園運営に臨んでいる。保育実務に関しては全体的な保育計画を作成し、これに沿って年間指導計画や月間指導計画を作成して、目標とねらいに照らして、定期的に保育実践の振り返りを行い次期につなげている。職員については前期・後期に自己評価を行い、保育実践や職場における自己の振り返りを行うとともに、期毎や年度末に目標の達成状況を評価するなどの目標管理を行っている。</p>		

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当



<b>評価項目2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>カテゴリ3の講評</b>		
<b>服務規律などを明示し職員が遵守すべきことを周知している</b> 保育に従事する者として守るべき法・規範・倫理などについては職員服務規程・倫理規定に定め、入職時に説明するとともに園内に常置し、必要に応じて参照できるようにしている。職員は法人から半期ごとの自己評価を義務付けられており、各自が法令遵守等の振り返りや意識付けによって、理解が深まるように取り組んでいる。また、服務規律を設け、子どもや保護者の尊厳などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。全職員がそれぞれの役割に応じた規則を遵守することへの意識付けと実行に力を入れている。		
<b>意見・要望・苦情などはいつでも受け付け、迅速に対応することになっている</b> 苦情解決制度を利用できることや園以外の相談先については、重要事項説明書や保育園のしおりに明記するとともに入園説明会・個人面談・保護者会・掲示板等によって、遠慮なく利用できることを保護者に伝えている。また、登降園時にもいつでも受け付けることを説明している。意見・要望・苦情などを受け付けた際には、主任が窓口となり、園長・法人本部に連絡する仕組みとなっている。園で作成している苦情解決マニュアルを活用し、利用者意見等の早期解決を図り、必要などときには緊急に職員会議を開き、組織的に速やかに対応することになっている。		
<b>虐待などが発生した際にはマニュアルに沿って対応することになっている</b> 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、気になることがあった際は園長・主任に報告することになっている。必要に応じてクラス会議の議題として取り上げて話し合うなど、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底させている。また、虐待を受けている疑いや情報を得た際、虐待の事実を把握した場合には園で作成している虐待対応マニュアルを活用し、状況に応じて子ども家庭支援センターや児童相談所と連携を取りながら慎重かつ迅速に対応する体制を整えている。		
<b>カテゴリ4</b>		
<b>4</b>	<b>リスクマネジメント</b>	
<b>サブカテゴリ1(4-1)</b>		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		<b>サブカテゴリ毎の標準項目実施状況</b> <b>5/5</b>
<b>評価項目1</b> 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>リスクマネジメントの取り組みを充実させ、安心・安全な園運営に取り組んでいる</p> <p>事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化などリスクを洗い出し、どのリスクに対してはどのような対策を講じるかについては、リスクマネジメント関連の各種のマニュアルを策定したり、園内外の研修など通じて学べる機会を設けている。さらに、全職員に救命技能認定を取得させたり、事業継続計画(BCP)を事務所に常備して職員の注意喚起に取り組んでいる。保護者への各種のリスクへの対応などは、保育園のしおりに記載して入園説明会で説明し周知に努めている。複数のリスクが顕在化した際には、命を守ることを最優先に取り組むことにしている。</p> <p>インシデントレポートや周知簿を活用し事故を未然に防ぐことに力を入れている</p> <p>事故報告書やヒヤリハット、インシデント記録を作成し、「事故検討部」によって分析や対策案を策定している。さらにその結果は、会議や周知簿によって職員への周知を図りながら再発防止と対策の見直しに取り組んでいる。インシデントレポートや周知簿を活用し、日頃の気づきをタイムリーに話題にすることで、提供サービスの質の向上や業務改善に役立っている。今回行った保護者アンケートの「安全対策は適切になされているか」の設問に関しても高い満足が得られており、保護者への情報提供や対応なども適切になされていることがうかがえる。</p> <p>重要性や気密性に配慮した情報管理に取り組んでいる</p> <p>情報の重要性や機密性を踏まえ、収集した情報はアクセス権限を設定するほか、施錠できる書庫に保管し、必要に応じて閲覧できるようになっている。持ち出す際は必ず事務所職員に声かけし、持ち出しは事務所と休憩室のみとしている。職員離席時には書庫は必ず施錠し、情報漏えい防止対策としている。書庫の施錠は園長・主任及び限られた職員で管理し、情報漏えい対策の周知も図っている。職員に対する個人情報取り扱いについては、入職時研修で周知を図り誓約書を交わしている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	3/3
組織力の向上に取り組んでいる			

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

<p align="center"><b>カテゴリ-5の講評</b></p> <p>職責、適性、希望などをベースにキャリアパスと連動した人材育成計画を策定している</p> <p>職員の採用については運営事業者の尚徳福祉会の専権業務としており、法人理事長が直接面接を実施して採用する流れとしている。面接では法人理念を説明し、賛同できる応募者を採用している。入職後は個人面談で希望を把握し、適性や経験に基づいた配置や異動を、法人内として行うことにしている。また、保育士業務マニュアルに職責や職務内容(役割)を規定し、給与規定によって処遇を規定するなど書面によって役割や待遇等で明示し、分かりやすく伝えている。</p> <p>職員自己評価表を活用しながら目標達成に向け、職員の育成に取り組んでいる</p> <p>年間を通じて研修計画を策定しており、常勤・非常勤に関わらず偏りなく研修を受ける仕組みが整っている。コロナ禍においても研修参加支援するために、オンラインや書面での研修も取り入れている。研修受講については入職年次・職制・職域・職責に加え、職員面談で一人ひとりの希望を聴取し、受講したいテーマの研修も参加できるようにしている。職員自己評価表を活用しながら目標達成に向け、職員の育成を行っている。子どもや保護者に対する接遇に関しては、自己評価に加え、園長評価を実施し現状と課題を踏まえた次の目標設定に役立てている。</p> <p>リーダー職員が自らの役割や責任を果たせる体制作り力を入れている</p> <p>年度初めに分野別リーダーを取り決め、全職員向けに発表することで、各リーダーが自分の役割を認識するとともに、指導しやすい体制作りに取り組んでいる。日頃から、園長は主任に対して、主任は、各リーダーに対して指導・助言に取り組み、適宜、保育の実践において模範が示せるようにしている。また、クラス会議では目標や課題について議論し、組織一丸となって目標達成や課題解決に取り組めるようにしている。クラス会議録は全職員に回覧して共有するとともに理解を促し、現在取り組んでいる事案にチームで対応できるような体制作りを行っている。</p>	
--	--

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・コロナ禍における保育所の役割を振り返り、さらに安心して安定した保育の提供を目指して、令和2年9月以降は特に以下事項について取り組んだ。

- ①子ども・保護者・職員の更なる健康把握:検温や視診、聴き取り、健康チェックシートの活用などをし、体調管理・予防に努めた。
- ②コロナウイルス感染拡大防止の取り組み:クラス別保育や、可能な限り少人数での対応、食事や午睡の配置の工夫。園舎に入る人数を最小限に留め、密にならないような環境づくりを行った。また、職員休憩室の人数制限を設け、休憩室・相談室などの個室にアクリルパーテーションを設置し、飛沫対策を行った。
- ③子どもたちが安心して過ごせるようにする:保育士は、マスクをしていても表情がより伝わるよう、豊かな表現を心がけた。また、応答的で丁寧な関わりをし、いつでも安心感を持ってもらえるような雰囲気づくりを園全体で行った。
- ④新型コロナウイルス感染症陽性者及び濃厚接触者への適切な対応:陽性者や濃厚接触者が判明した場合の、保護者への連絡体制や保健所等の関係各所と連携を図り、迅速かつ適切な対応を心がけた。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・保健所や新宿区の指導も得ながら以前より行っていた対策に加えて、保護者にも理解と協力を得ながら、令和2年9月以降は上記の取り組みによって、コロナウイルス対策をさらに強化し、感染拡大防止・予防に努めた。さらに、正しい知識を得、適切な取り組みを行っていくことの大切さを実感したことを踏まえ、今後は、安心・安定した保育を守りつつ、コロナ禍における保育の充実を更に工夫し、実践を目指している。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・以前の保育指針の改定にともない、園内で議論を重ね、園全体で「全体的な計画」を作成し、日々の保育の実践にあたった。具体的には、  
 ①質の高い保育とはどんなことかを意識しながら、保育を行った。  
 ・振り返りや相談は、日々、クラスや担任・園長・主任で行っていく他に、月一回のクラス会議でも話し合った。  
 ・その都度職員から出された意見を試して、評価、振り返り、実行するというPDCAサイクルが少しずつ出来るようになった。  
 ②新しい指針にも明記されているように、改めて乳児期における保育の大切さを皆で感じ、応答的で温かい保育の実践をしてきた。  
 ・子どもに対して否定的な関わり方をしないということを、日々の保育の中で心がけていくよう、園長が周知簿やクラス会議の中で発信しながら全体でも意識出来るように取り組んだ。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・上記の取り組みにより、保育理念に基づく上記の考え方を、引き続き、園だより、保護者会などで園長が発信した。さらに、それらを全職員に周知するとともに、クラス会議でも話し合いを行っており、特に、新入職員には、入職前面談やクラス会議等で保育理念に基づく考え方を示し伝えている。結果、子どもを尊重した関わり方は細かいところまで職員に根付いており、日々の保育や子どもたちの安心して自己を思いきり表現する様子から実感することができる。また、ラーニングストーリー、職員の自己評価、人権擁護の園内研修、職員のセルフチェックなどからも感じとれている。よって、今後もより良い保育、子ども理解を深めていくためには、職員の気づきや感性を高めるための一つとして、職員のライフワークバランスの向上を目指すことにしている。

## II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>待機児童解消推進モデル事業の事業所内保育所であることを関係各所に広報している</p> <p>待機児童解消促進のシンボリック保育園として平成28年10月に開設された。都庁内に設置されており、都庁職員を始め、近隣の協定締結企業の従業員、新宿区民の子どもの受け入れをしている。他にも、複数月継続的に一時預かりを行う定期利用保育など、待機児童を解消するためのモデル的な取り組みが行われている。これはホームページや園のしおりの最初に謳われており、利用希望者等への周知を図っている。視察や取材を受け入れている旨も重要事項説明書等に明示されていた。</p> <p>従業員枠と地域枠があり、申込み先をホームページ等で明示している</p> <p>当保育園は、民間事業者等における地域に開放した事業所内保育所の設置を促進し、待機児童解消に寄与する目的を持っている。そのため、新宿区民向けの地域枠と、都庁職員や近隣の協定締結企業社員向けの従業員枠にわけて子どもの受け入れをしている。申込み窓口はそれぞれ異なり、地域枠は区の担当課、従業員枠は、運営主体である東京都人材支援事業団となっている。それぞれの申込み方法は、園のホームページに明記されていた。地域向けにはしおりの配布、従業員向けには事業団が周知するなど、利用希望者に必要な情報を提供している。</p> <p>問い合わせ・見学に対し、園長を中心に対応する体制がある</p> <p>利用希望者の問い合わせや見学については、園が受け入れをしており、見学の希望があれば随時に対応している。案内は園長や主任職員が行う。玄関を入ってすぐの場所に事務所が置かれており、電話での問い合わせには事務職員も対応している。特に従業員枠では、事業団が中心となって園と話し合い、利用希望者の受け入れについて協議している。見学の際には面談も実施し、子ども・家庭の状況について聞き取りをしている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p><b>地域枠・従業員枠のそれぞれに対し、入園時に必要な情報を伝えている</b></p> <p>地域枠・従業員枠それぞれの保護者に対し、必要な情報を伝えている。地域枠の家庭には、利用申し込み・見学時等の個別面談で保育や園のルールを伝えている。従業員枠の家庭には、運営主体である事業団が中心となって行う入園募集説明会で園の説明が行われる。更に入園前の全体説明会も実施しており、保育園のしおりに沿ってより具体的な話もしている。申し込みのルートは異なるが、どちらの枠の保護者にも必要な情報が周知されていることが確認できた。今年度はコロナ禍で、入園前説明会をDVD配布に切り替えるなどの工夫もしている。</p> <p><b>入園当初は、子どもと親双方の不安・ストレス軽減に力を入れている</b></p> <p>慣れ保育予定表を作成し、新規に入園した子どもが園の生活に馴染めるよう気を配っている。慣れ保育は1週間を目安に、昼食まで、午睡までと滞在時間を増やしている。予定表は保護者とも相談しながら作成している。新規入園の子どもの食事・ミルクは、保育士が個別対応を行い、しっかりと食事が取れるよう見守りしている。子どもの不安やストレスの状況によっては、保護者の付き添いをお願いすることもある。親子で朝食を頂けるモーニングカフェ、手ぶらで登園サービス等もあり、親子の負担軽減に尽力している。</p> <p><b>地域枠の子どもは継続して連携園を利用できる仕組みがある</b></p> <p>当園は生後57日目以降から2歳児クラスまでの新宿区認可の事業所内保育所である。3歳児以降も保育園を利用する場合は、他の保育園を探す必要がある。園には地域枠・従業員枠それぞれの子どもを預かっているが、このうち地域枠の子どもは、引き続き連携園の「認定こども園新宿ベアーズ」を利用することが出来る。連携園であるため引き継ぎしやすい利点がある。一方、従業員枠の場合、3歳児以降も引き続き利用するための保育所を探さなければならない。園内には都・区からのお知らせなどが掲示され、引き続き保育園探しに協力している。</p>			

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

日々の申し送りや各種会議等で子どもに関する情報共有や意見交換を行っている

月1回のクラス会議、週ごとの週案会議などで子どもに関する情報の共有・意見交換が行われている。また朝夕の伝達簿を作成しており、子どもの受け渡し時の連絡事項を保育士間で共有している。他にも周知簿と呼ばれる回覧ノートがあり、事務連絡、ヒヤリハット、事故、保育に関することなどが記載されている。現在は新型コロナ感染防止のため、全体での職員会議は休止となっているが、記録類の回覧により、必要な情報の共有が図られている。

ラーニング・ストーリーの作成を通じ、保育士と保護者が子どもの成長を共有している

今年度からラーニング・ストーリーの作成を始めている。子ども一人ひとりの育ちの記録として、日々の出来事や写真、チャレンジしたことなどを書き記している。これにより保育士は、これまで以上に子ども一人ひとりに丁寧な目線を向けるようになっており、保育士のスキル向上にもつながっている。併せて保護者にもラーニング・ストーリーへコメントを書いてもらうようにしている。ラーニング・ストーリーの作成を通じて、保育士・保護者双方が子どもの成長を共有するのみならず、育ちや学びを考えるきっかけを得られるようになった。

全体的な計画を土台とし、年間計画や月案、個別指導計画等が作成されている

毎年度の全体的な計画をベースとし、これに基づいて園の年間指導計画を作成している。作成の際は職員全員で意見を出し合い、園の現状に即したものを作るようにしている。さらに年間指導計画に沿った月間指導計画、週案が作成されている。また、子ども全員分の個別指導案も作られている。職員は計画に基づき、日々の保育を個別具体的に実践していることが確認できた。日々の状況は保育日誌、児童票に記録がなされている。ノンコンタクトタイムを活用しており、保育士は集中して記録作成をすることができている。



サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>人権擁護がテーマの研修、セルフチェックシート記入などで振り返りの機会を作っている</p> <p>法人が大切にしている「子どもを尊重した保育」を全職員に周知・徹底するため、園内研修を実施している。園内研修では法人理事長が人権擁護に関するテーマを設定し、職員が話し合いを行う。また職員セルフチェックシートを定期的に行う仕組みがあり、職員が個々に自身の保育を振り返ることができている。人権擁護に関する園内研修やセルフチェックの取り組みは、今年度から新たに始めたものであり、今後の継続が大いに期待される。</p> <p>仕事と子育てを両立できるよう様々な保護者支援が行われている</p> <p>年度の定期面談、送迎時の声かけなど、保護者ニーズの把握に尽力している。必要があれば随時に面談したり、電話での相談対応も行っている。外部の専門機関など、各種の相談場所の情報提供も行う。保護者面談の記録は職員間で共有もなされていた。登園では、保護者が気持ちにゆとりをもって子育てし、仕事にまい進できるよう、各種の保護者支援サービスを用意している。当日申し込みも可能な延長保育、親子で朝食が食べられるモーニングカフェ、体調不良児への手厚い対応、荷物軽減サービスなどがあり、保護者のストレス減に努めていることが伺えた。</p> <p>着替えやオムツ交換はできるだけ他者の目に触れないよう気を配っている</p> <p>2歳児までの園であり、各クラスでオムツ交換、着替えなどのお世話が日常的に行われている。保育士の見守りが必要な年齢であり、仕切りなどは特に設けていない。しかしながら子どものプライバシー、羞恥心には気を配っており、廊下から丸見えにならない場所で着替えるなどの配慮が行われていた。夏には水遊びを行うが、玄関のたたきを利用し、パーテーションで外部の視線をさえぎるなどの気配りをしている。一時保育の方では、就学前までの子どもを預かるため、トイレはすべて個室にするなど年齢に応じた羞恥心対応が行われていた。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>各種のマニュアルが整備されているが、コロナ禍で見直しの機会を作れていない</p> <p>保育を始め、子どもの権利擁護や災害時対応ほか、各種のマニュアルが整備されている。マニュアルは同法人の他保育園のものを参考に、行政のガイドラインなども加味しながら、当園で作成したものである。職員会議などで周知されており、事務所内の手に取りやすい場所に置かれている。必要に応じて、追加・修正なども行っている。一方で、現在、定期的な職員会議は新型コロナ感染防止対策によって休止中であり、マニュアル見直しの機会を作ることが出来ていない。マニュアル全般の見直しや話し合いの機会をどうするか、今後の課題となっている。</p> <p>園長の交代に伴って職員体制を見直し、新人保育士育成に力を入れている</p> <p>今年度、園長の交代があり、それに伴って職員体制も新たに見直しをしている。昨年度までは園長の下に主任保育士を1名置いていたが、新たに2名の主任を配置することとした。これにより、より一層の保育の質向上を目指している。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大や園の休園などを受け、保育士の退職も相次いだ。今年度は新園長および2名の主任、新人職員を含めた新体制で、安全・安心な保育サービスの提供に努めている。園内研修、職員のセルフチェックも新たに開始し、職員教育に取り組んでいることが確認できた。</p> <p>新型コロナ感染症対策の強化・徹底に努め、安心安全な保育環境作りに尽力している</p> <p>昨年度は当園でも、園児1名・職員3名が新型コロナウイルスに感染した。これを受け2週間の休園をしている。再開後は、子ども・保護者・職員の更なる健康チェックに努めている。またクラス別保育の徹底、少人数での行動、食事や午睡の際のソーシャルディスタンスなど、保育の各場面で感染防止対策を実施した。保護者に対しても、園の玄関での受け渡しをお願いし、園内への立ち入りの制限を行った。併せて園日より、保健だよりなどを活用して、園でのコロナ対策を伝えた。感染防止に向け徹底した対策を行っていることが確認できた。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	34/34
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p><b>子どもの発達状況に応じた保育の適切な実践に努めている</b></p> <p>各年齢ごとの発達状況に応じて年間指導計画が作成され、計画に基づいて月案、週案が策定されている。子どもの情報は、登降園の保護者との会話、日々の連絡帳などを通じて把握し職員間で課題を明確に共有している。また、子ども一人ひとりのリズムの違いを尊重し、職員が環境の一つであることを意識した言葉かけや対応を大切にしている。子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、コーナー保育の設定をはじめ、自ら遊びたくなるような取り出しやすく見えやすい玩具棚の設置環境を工夫している。</p> <p><b>子ども同士が自主的に互いに成長できる保育の実践に努めている</b></p> <p>子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つように、朝夕の時間帯では異年齢児が自然に触れ合える環境作りを取り入れている。また、外国人スタッフが保育補助として入っているため、外国籍の子どもも自然と関わることが出来、互いに尊重する心を育てられるようにしている。家庭状況やアレルギーなど配慮が必要な子どもについては、他の子どもと分け隔てなく関わる環境を設定し、共に成長できるようにしている。既往歴のある子どもに対しては、保護者と情報を交換しながら安全に生活出来るよう配慮している。</p> <p><b>発達の過程で生じるトラブルについては、子どもの気持ちを尊重した対応に努めている</b></p> <p>子どもの各年齢の発達の過程で生じるさまざまなトラブルや喧嘩などに対しては、一人ひとりの状況を把握し、その場に応じた対応に努めている。また、「かみつぎ」などを未然に防ぐよう、心配のある場合は1対1で職員が対応するなどの配慮を心がけている。被害者・加害者の両方の子どもの気持ちを尊重した保育の実践をするため、会議での検討や研修で学べるようにしている。ケガが起こった場合、事故報告書を記入し、対策・再発防止に努めている子どもの気持ちを尊重した対応をしている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

**登・降園時には保護者とのコミュニケーションを大切にしている**

登園時は連絡帳をもとに家庭での様子を聞き、体調面や気になったことなどを目視と合わせて確認して受け入れることにしている。降園時にはなるべく担任が対応出来るようにしているが、担任以外が対応する際には今日の様子をエピソードとともに伝えたり、時にはかわら版も有効活用して、子どもの状況を保護者一人ひとりに丁寧に伝えることにしている。「かわら版」は、クラスの様子を写真コメント付きで週1回更新して掲示している。さらに、朝夕伝達簿や周知簿なども活用して、伝え漏れや職員による対応の差が出ないように配慮している。

**保護者との連携を図りながら基本的な生活習慣が身につくように支援している**

年齢や個々の発達課題に応じて、食事や排せつ、衣服の着脱、生活リズムの確立など生活に必要な事項を園生活を通して身につけることができるように支援している。基本的な生活習慣については、年度始めの保護者会で成長の目安についてのプリントを配り、説明しながら家庭と協力して進められるようにしている。トイレトレーニングの開始や時期について、はじめに保護者会で伝え、それぞれの家庭と協力し話し合いながら、子どもの状態に応じて個別に対応している。食具の使い方や正しい姿勢などの食事のマナーを覚え、守っていくように支援している。

**午睡時間は一人ひとりの生活習慣や体力に配慮している**

クラスごとに年齢や活動内容に応じて午睡時間を設定している。0歳児では一人ひとりの発達の状態や保育時間に合わせて、午睡時間以外でも睡眠を必要とする子どもには個別に対応している。子どもの生活リズムを把握して、日中の活動で十分体を動かし、自然な睡眠がとれるよう配慮している。休息に関しては個々の生活リズムや家庭環境も違うため、そういったところも考慮しながら細やかに対応している。午睡をしない時間中は休憩時間として静かに過ごし疲れたら横になるなど、一人ひとりの子どもの生活習慣や体力などに配慮している。

3	<b>評価項目3</b> 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>
---	--	------------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

**評価項目3の講評**

**子どもが遊び込めるための環境作りの工夫をしている**

子どもが主体的に遊べるように、室内ではコーナーを作り好きなコーナーや玩具を選んで、一人遊びや複数の遊びを広げられるようにしている。また、歌を歌ったり、リズムや制作活動を行っている。また、その子なりの興味を持ち方や参加の仕方を見守りながら、無理強いせず、集団活動に主体的に関われるよう援助している。優しく子どもに語りかけたり、子どもの発言にゆっくりと応答するなどして、子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している。

**園外活動を通して季節の移り変わりを感じられるような働きかけをしている**

都庁内に保育園があり、高層ビルに囲まれている他園とは環境が異なる園である。警備員をはじめ散歩で出会う地域の方と挨拶を交わしたりと、日常生活の中での関わりを大切にしている。散歩先の新宿中央公園は、広い敷地の中の芝生で思いきり駆けたり落ち葉で遊べる場所であり、虫探しや木の実、季節の花集めなどができ、都会の中であっても四季折々の自然を満喫することが出来る。また、公園までは車道の無いルートで行けるので、危険に遭遇することなく、子どもたちの興味や発見にじっくりと付き合える環境にあることがうかがえる。

4	<b>評価項目4</b> 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している	<b>評点(〇〇〇)</b>
---	---	----------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

**評価項目4の講評**

**子どもが興味を持って取り組める行事が実施されている**

年間行事予定は保育計画・指導計画に基づき、活動内容を考慮し計画されている。季節の行事や伝承行事などを実施しており、年齢と発達に合わせて子どもが日常の保育活動とは違った楽しみ方ができるように取り組んでいる。園内には行事にちなんだ装飾や制作を飾り、食を通して興味を持てるようにするなど、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している。今年度は、子どもが興味があり盛り上がりつつある遊びが広がり、2歳児クラスが中心となり、他クラスも巻き込んだ「夏まつり」という園内行事をした。

**みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事などを実施している**

日々の保育で身に着けた力や成長した姿を表現し、さらに参加できることを目標にするなど、みんなで協力してやり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している。子どもの思いをキャッチし、職員から自発的に行事を企画・運営することによって、職員の感性を育むことにもつながっており、日頃の充実した保育の結果につながっていることを園では認識している。また、日常的に異年齢同士の交流を持つことで、お互いを思いやり協力しあえる関係作りができており、様々な行事の準備や開催にもつながっている。

**行事の予定やねらいを伝え保護者の理解を得られるようにしている**

年度初めには年間行事計画を作成し保護者に配布するとともに、かわら版でも行事のねらいや取り組みについて分かりやすく説明し理解を得ている。また、行事を通して子どもの成長を確認し合い、保護者と協力し信頼関係を深めている。子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事やそこに至るまでの取り組みを連絡帳やかわら版を通して保護者に伝え、園の様子が少しでも伝わるように保護者の理解や協力を得るための工夫をしている。さらに、コロナ禍であっても、子どもも保護者も満足するような親子行事の企画、開催を目指している。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

職員間で子どもの様子を確実に引き継げるように取り組んでいる

保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう夕保育担当者をなるべく固定化し、子どもたちにとっても保護者にとっても「いつもいてくれる先生」という安心感につなげている。室内は換気や清潔を保持し、適切な湿温度を保つようにしている。夕保育担当者が責任をもって受け持ち、子どもの人数に合わせ保育補助員を配置して十分な体制を保持している。日中の子どもの様子は、連絡帳や保育日誌に記録し、夕保育担当者が迎え時に保護者に伝えている。連絡帳には詳しくその日の子どもの様子を記載するように努めている。

保育時間の長い子どもたちが安定して過ごせるような配慮をしている

保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう、延長保育用の玩具を用意し、好きな玩具を選べるようにしたり、絵本をゆっくりと読んだりしながら、寛いで過ごせるような雰囲気を作るなどの配慮をしている。コーナー設定をするほか専用の玩具を用意するなど、子どもの状態に応じて対応できるような環境を整えている。夕食の子どもたちは食事ほとんど毎日同じ職員が対応しているので、前日との差、成長や体調の変化にも気づきやすく、細やかな配慮や関わりをすることを可能としている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

栄養士と保育士が連携を図り、食事の時間が楽しくなるように取り組んでいる

栄養バランス・色彩のバランス・目でも楽しめるように型抜きをしたり、メニューや味付けなどに工夫を凝らして、薄味でも美味しい食事提供に努めている。また、子どもの味覚に合わせた行事に合わせたメニューを作成している。栄養士は各クラスの食事の様子をラウンドして、子どもが楽しい雰囲気になるような声かけに取り組んでいる。保育士と食事について連携を図り、子どもたちにとって良い食事を提供できるように心がけている。子どもと積極的に関わり、子どもの状況を確認し、一人ひとりの成長に合わせた食事作りに取り組んでいる。

食物アレルギー児などへは間違いなく代替食が提供できるようにしている

アレルギーに関する心配のある子どもなど、アレルギー代替食の提供や、宗教による代替食など、状況に応じて可能な限りの配慮がなされている。食物アレルギーによって代替食を提供する際には、医師の指示書やマニュアルに基づいて提供しており、毎月、保護者には食材を明記した献立を配布し、事前に確認、許可を得ることにしている。また、配膳時には、放送をかけ全職員に周知し、個人専用のトレーなどを用いて誤配がないよう注意している。さらにアレルギーでも食べられる食事やおやつを取り入れている食事を提供することも取り入れている。

食育に関する関心をさらに深めることを目指している

食についての関心を深めるため、子どもたちの成長段階に合わせて野菜・果物の絵のカードを部屋に貼ったポケットに隠し、野菜・果物狩りに見立てて遊びを通して食育につなげた取り組みを行っている。野菜・果物の絵のカードを用いて生長過程などを子ども自身が感じ、保育士が伝えたりすることで食への関心が深まるようにしている。これらの活動に加え、さらに食育の大切さを子どもや保護者に伝えることを目指している。

7	<p>評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>エプロンシアターなどを用いて健康や安全に関心を持てるようにしている</p> <p>健康や安全対策については、子どもの発達段階に合わせて各クラスの担任が看護師と連携を図り、安全かつ健康を保てるような生活の場作りに取り組んでいる。登園後の体調については、定時のラウンド以外にも連絡ノートで家庭での状態を把握し、各担任と看護師が密に連絡を図り、子ども一人ひとりの個性を理解したうえで、体調不良の早期発見に努めている。さらに、子どもが自分の健康や安全に関心を持てるように、エプロンシアターで手洗いや歯みがき指導を実施するなど、0～2歳児の発達段階に合わせた声かけや説明に取り組んでいる。</p> <p>園医と連携を図り医療的なケアへの体制を充実させている</p> <p>医療的なケアが必要な子どもについては、ライブカメラで園医の指示を受けながら看護したり、専門医療機関に受診する際に園での症状記録を保護者から渡してもらうなどして、連携した対応に取り組んでいる。年度初めには嘔吐処理やアレルギー児への対応についての研修を行い、職員間での周知に努めている。また、家庭でのケア、起こりやすい事故については、毎月のほけんだよりや掲示物でさらに保護者が分かりやすく伝えることを目指している。理解しやすく、実践しやすい方法を工夫することを検討している。</p> <p>看護師2名が常に情報交換を行い、子ども一人ひとりの健康維持に取り組んでいる</p> <p>体調不良の際には園医の指示のもと、安心して安静に過ごせるように医療コーナーにおいて看護することになっている。また看護師2名が常に情報交換を行い、日々の看護に生かせるよう連携を図っている。保護者からの健康に関する相談は、常時連絡ノートや送迎時に回答している。また、午睡時には保育士と看護師のダブルチェックでSIDS防止に取り組んでいる。さらに、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みとして、体調管理や注意すべき疾患、予防接種の推奨、事故や応急手当等、保護者に対しての啓発活動に力を入れている。</p>		
8	<p>評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者が子育てと仕事を無理なく継続できるよう各種のサービスを提供している</p> <p>保護者支援に力を入れており、子育てと仕事を負担なく継続していくための、さまざまなサービスが提供されている。延長保育は22時までで、当日申し込みも可能である。また親子で朝食が食べられるモーニングカフェ、手ぶらで当園できる荷物軽減サービスもある。発熱等の体調不良の際は、保護者が迎えに来るまでの間、看護師が見守りしている。園内にライブカメラがあり、法人代表の医師に助言を貰うこともできる。専用室を使った一時保育には「定期利用保育」という枠があり、登録者が継続的に一時保育を利用できる体制も作られている。</p> <p>ラーニング・ストーリー作成を通じ、子どもの成長についてより一層の共有を図っている</p> <p>今年度からラーニング・ストーリーの作成を始めている。これはニュージーランドで開発された、観察と記録による子ども理解の方法である。子どもの興味関心、チャレンジしていること、気持ちの表現などの着眼点に沿って、保育者が写真や文章で記録を作成する。当園では保育士が作成したラーニング・ストーリーを保護者とも共有し、保護者コメントをカードに書いて貰っている。ラーニング・ストーリーの概念を保育士、保護者が共有することにより、より一層、子どもを肯定的に捉え、気持ちの理解が進んでいる。</p> <p>保護者会は現状、書面開催としており、必要な情報が伝わるよう努めている</p> <p>これまでは年度に2回、クラスごとに保護者会が開催されていた。しかしながら昨年度から今年度にかけては、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となっている。そこで文書配布による書面開催に切り替え、必要な情報を伝えている。年度の方針や保育についての説明、健康管理等について、わかりやすく見やすいプリント類を作成していることが確認できた。子どもの受け渡しもコロナ禍により玄関までとなっているため、日々の保育を伝える瓦版、写真、作品展示などで情報提供をする工夫を行っている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p><b>都庁庁舎の職員を始め、地域の人々と子どもが日常的に交流する機会がある</b>  都庁の建物内にある保育園であり、近隣の公園等に出かけるときは、まず都庁の中を歩くことになる。警備員を始めとする都庁職員と子どもたちは顔なじみの関係であり、日常的な交流が実現している。他にも、近隣の公園に散歩に出かけたり、消防署見学をするなど、積極的に外に出かけ、外部の人との交流を図っている。</p> <p><b>ボランティア、シルバー人材など多様な人々を受け入れ、子どもの交流の幅を広げている</b>  保育士をめざす学生のボランティアを、夏休みなどの長期休みの時期に受け入れしている。また今年度からはシルバー人材センターから保育補助の職員を迎えた。その他、中学生の職業体験、福祉の実習生など、多くの人々を園に受け入れる機会を作っている。子どもたちは、保育士以外の様々な人々と触れ合い、遊ぶ機会を得ている。現在は新型コロナ感染防止対策のため、受け入れは縮小しているが、いずれ収束した後に、再開することが大いに期待される。</p>		



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル①	設置主体と運営事業者の役割分担を明確にし、適切な園運営が図れるようにしている	
内容①	<p>年度毎に決算状況を精査し、次年度の適正な予算編成に取り組んでいる。予算が決定された後、月単位で収支状況を項目毎に一表にまとめ、執行状況を確認するとともに適切な予算執行に取り組んでいる。保育面での園運営については、日々の保育や保護者アンケートなどから得られた情報をもとに課題を抽出し、解決や改善策を講じることにしている。また、設置主体である事業団と運営事業者の尚徳福祉会が互いの役割を共有したうえで連携を図り、多面的な視点から事業内容を検討することに努め、円滑な園運営につなげている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル②	待機児童問題解消に寄与することを目的として開設された事業所内保育所である	
内容②	<p>社会問題となっていた待機児童問題を解消に寄与することを目的とし、平成28年10月に開設された。事業主体は東京都、設置主体は東京都人材支援事業団、運営業務を委託されているのが社会福祉法人尚徳福祉会である。事業所内保育事業のモデル的取り組みとして都庁内に設けられた。地域にも開放しており、区の子ども向けの地域枠、都庁や近隣企業の子ども向けの従業員枠がある。一時保育では「定期利用保育」を実施しており、登録者は継続的に子どもを預けることができる。園のパンフレットが関係各所に置かれ説明会等で園の機能を広く発信している。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	園内研修として写真とコメントからなるラーニングストーリーの作成に取り組んでいる	
内容③	<p>今年度は、子ども理解の視点を持ち、担当が分担し、一人ひとりの記録を作成した。普段の保育や個人別日誌だけでは見えづらかったような子どもの姿を掘り下げ考察し、互いの記録を見合うことで、視点の違いを語り合ったり、他クラスの保育を知るきっかけにもなった。また、子ども主体という考え方が職員の中でも理解できたようであった。ラーニングストーリーは保護者に提供し、家庭と子どもを共通理解することとなり、保育士の視点を伝える良いツールとなった。ラーニングストーリーは今後も継続していきたいとしている。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子育てと仕事を両立できるよう、保護者支援にも力を入れている
	内容	保護者が育児と並行して仕事を継続できるよう、各種の保護者支援サービスを提供している。延長保育は22時まで行っており、当日申し込みも可能である。子ども連れで通勤ラッシュの電車に乗ることを避けるため、早朝の電車を利用する親子に対し、園で朝食を提供している。モーニングカフェと呼ばれ、希望者に向けて有料で行っている。荷物軽減のための寝具レンタルや紙オムツ提供、衣類洗濯サービスもある。他にも登園後に体調不良となった子どもには看護師が付き添い、ライブカメラで法人の医師が助言することも行っている。
2	タイトル	音楽やリズム遊び等を通して子どもが様々な表現を楽しめるようにしている
	内容	子どもの発達の様子をみながら玩具などを取り揃えてグループ保育や小人数活動を行うことで、安心して過ごせるように配慮している。季節の制作で様々な素材に触れ、表現を楽しんだり、音楽やリズムあそび等を通して楽しみながら表現するなど、子どもが様々な表現を楽しめるようにしている。生活や遊びを通して、子どもが決まりの大切さに気づき、たくさん気持ちを受け止められる経験をし、安心した土台を作った上で相手の気持ちに気付けるような保育を実践することで、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう配慮している。
3	タイトル	組織一丸となって保育や各種の園務に取り組む体制が整っている
	内容	子ども一人ひとりを尊重するとともに安心できる環境作りに取り組み、自己が発揮できるような保育の実践に取り組んでいる。また、園では全職員が連携して保育や各種の園務に取り組む体制を整えており、クラス等の枠を超えた協力や意見交換などによって、職員同士の良好な人間関係構築にも寄与していることがうかがえる。さらに、個別対応を必要とする案件についてもクラス会議等を活用して早期解決させることで、保護者との信頼関係の構築も寄与していることがうかがえる。自己評価の項目を職員主体で見直し提案欄を設け、課題解決につなげている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	コロナ禍を受け、各種マニュアルのうち一部マニュアルについて職員全体で見直しする機会が作れていない
	内容	保育にまつわる各種のマニュアルが整備されている。同法人の他保育園のマニュアルや行政の指導などをベースとしながら、当園の職員たちが話し合い、作成したものである。随時、追加修正などは職員会議で行い、周知を図っている。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止のため、全体職員会議は昨年度から休止となっており、マニュアルに関する見直しの機会が作れていない。コロナ禍においても全体職員会議以外の方法で、マニュアルに関する見直しの工夫が期待される。
2	タイトル	さらなる保育力の向上を目指している
	内容	子どもの発達を的確に捉え、現在子どもが必要としているものや、その一歩先を見通したものの提供を、さらに整備することを目指している。特に、子どもが常に使いやすいような物の配置や動線を考えた室内環境の設定に加え、充分に取り組める保育士の育成など、物質・人的環境の整備に力を入れたいとしている。また、保護者や支援の必要な子どもとの関わりなど、様々な課題に対し職員同士がお互いに学び、保育力の向上に結びつけることを目指している。さらに、保護者の満足度の向上にも努めたいとしている。
3	タイトル	園長や主任はリーダーシップをさらに発揮し園運営リードすることを目指している
	内容	一昨年来のコロナ禍の中での園運営は、初めての試みや対応が多いことから、園長や主任の様々なリーダーシップが求められる環境であった。各種の活動や行事は工夫を凝らしたが、保護者参加の行事は制限されたり中止せざるをえなかった。そのような状況を踏まえ、令和2年9月以降はコロナ対策をより充実させ、安心で安全な園運営を継続させている。園長や主任は職員のライフワークバランスの向上など取り組まなければならない課題もあることを踏まえ、経験を土台にリーダーシップを発揮して、さらに園運営リードすることを目指している。